

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 17 年 8 月 10 日

上場会社 はるやま商事株式会社

（コード番号：7416 東証第1部）

（URL <http://www.haruyama.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 治山正史

TEL：(086)226-7101

責任者役職・氏名 経 理 部 長 浅沼 明

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

・たな卸資産については、実地たな卸を行わず、帳簿たな卸により算定しております。

・税金費用については、簡便法により計算しております。

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	15,245	6.7	713	10.8	763	1.5	1,839	
17年3月期第1四半期	14,292	2.3	644		752		356	
（参考）17年3月期	54,525		4,098		4,499		1,977	

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	121 44	
17年3月期第1四半期	23 56	23 41
（参考）17年3月期	127 91	127 31

（注）売上高等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

〔経営成績の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期におけるわが国経済は、企業の設備投資の拡大や雇用環境の改善を背景に、個人消費にやや明るい兆しが見え始めたものの、原油価格の高騰や社会保障費の負担増などの不安材料により個人消費の改善にまでは至らず、景気回復は足踏み状態が続いております。

このような環境のもとで、当社は「アイススーツ」「サマーフォーマル」などの夏期商材の販売促進に努め、またワイシャツなどを中心にクールビズに対応した商品を取り揃えたことにより、重衣料、ビジネス関連商品ともに販売点数を伸ばすことができました。

この結果、当第1四半期の業績は、売上高 152 億 4 千 5 百万円、営業利益 7 億 1 千 3 百万円、経常利益 7 億 6 千 3 百万円となりましたが、当第1四半期より固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成 14 年 8 月 9 日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針 6 号 平成 15 年 10 月 31 日）を適用したことによる減損損失 13 億 2 千 5 百万円を特別損失として計上したことに加え、固定資産の減価償却における耐用年数を、税法上の耐用年数から過去の実績を勘案した見積経済耐用年数に変更したこと、過年度の固定資産臨時償却 22 億 8 千 4 百万円を特別損失に計上したことなどにより、第1四半期純利益は 18 億 3 千 9 百万円の純損失となりました。

(2)財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	58,096	32,380	55.7	2,137 82
17年3月期第1四半期	58,532	32,962	56.3	2,176 12
(参考)17年3月期	60,122	34,589	57.5	2,280 98

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における総資産は、前事業年度末に比べて20億2千5百万円減少し、580億9千6百万円となりました。これは、当第1四半期より固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針6号 平成15年10月31日)を適用したこと、及び固定資産の減価償却における耐用年数につきまして、税法上の耐用年数から過去の実績を勘案した見積経済耐用年数への変更を行ったことなどにより、有形固定資産が33億3千3百万円減少したことが主な要因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて長期借入金が5億4千5百万円減少したのに対し、短期借入金が増加したことなどにより、負債合計は1億8千3百万円増加いたしました。

資本合計は、前事業年度末に比べて22億9百万円減少し、323億8千万円となりました。この結果、自己資本比率は55.7%となりました。

[参考]平成18年3月期の業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

当社においては、事業の性質上、上半期に比べ下半期の売上高が高くなり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

当第1四半期において、新規出店及び既存店の営業強化に向けての積極的な人材採用により、人件費が増加いたしました。その結果、当中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	24,000	692	1,960
通期	57,000	4,557	20

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 1円32銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)		増 減		(参考) 平成17年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産								
現金及び預金	2,309		4,430		2,120		3,282	
受取手形	29		41		11		14	
売掛金	44		51		6		65	
たな卸資産	14,881		13,337		1,544		14,247	
その他	4,888		3,570		1,318		3,367	
貸倒引当金	31		36		4		36	
流動資産合計	22,122	38.1	21,395	36.6	727	3.4	20,940	34.8
固定資産								
有形固定資産								
建物	9,756		11,863		2,107		12,497	
土地	14,304		14,702		398		14,702	
建設仮勘定	225		178		47		325	
その他	2,563		2,479		84		2,657	
有形固定資産合計	26,849	46.2	29,225	49.9	2,375	8.1	30,183	50.2
無形固定資産	116	0.2	140	0.2	23	16.7	127	0.2
投資その他の資産								
差入保証金	5,224		5,018		206		5,133	
その他	3,945		3,167		778		3,898	
貸倒引当金	163		413		250		160	
投資その他の資産合計	9,007	15.5	7,771	13.3	1,235	15.9	8,871	14.8
固定資産合計	35,973	61.9	37,137	63.4	1,163	3.1	39,182	65.2
資産合計	58,096	100.0	58,532	100.0	435	0.7	60,122	100.0

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)		増 減		(参考) 平成17年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%		%
流動負債								
支払手形	3,724		4,788		1,063		4,188	
買掛金	7,560		5,971		1,588		5,778	
短期借入金	1,000				1,000			
1年内返済予定の長期借入金	1,936		2,250		313		2,029	
未払法人税等			369		369		1,453	
ポイント値引引当金	464		345		119		456	
賞与引当金	432		432				244	
その他	2,819		2,495		323		3,201	
流動負債合計	17,937	30.9	16,654	28.5	1,283	7.7	17,351	28.9
固定負債								
長期借入金	5,910		7,817		1,906		6,363	
退職給付引当金	998		910		87		976	
役員退職慰労引当金	640				640		640	
預り保証金	175		155		19		173	
その他	52		31		21		27	
固定負債合計	7,777	13.4	8,915	15.2	1,137	12.8	8,180	13.6
負債合計	25,715	44.3	25,570	43.7	145	0.6	25,532	42.5
(資本の部)								
資本金	2,905	5.0	2,905	5.0			2,905	4.8
資本剰余金								
資本準備金	2,776		2,776				2,776	
その他資本剰余金	2		2				2	
資本剰余金合計	2,778	4.8	2,778	4.7			2,778	4.6
利益剰余金								
利益準備金	560		560				560	
任意積立金	26,600		25,000		1,600		25,000	
第1四半期(当期)未処分利益	467		1,694		2,161		3,315	
利益剰余金合計	26,692	45.9	27,254	46.6	561	2.1	28,875	48.0
その他有価証券評価差額金	18	0.0	37	0.0	18	50.9	44	0.1
自己株式	14	0.0	13	0.0	1	7.8	13	0.0
資本合計	32,380	55.7	32,962	56.3	581	1.8	34,589	57.5
負債・資本合計	58,096	100.0	58,532	100.0	435	0.7	60,122	100.0

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期)		前年同四半期 (平成 17 年 3 月期 第 1 四半期)		増 減		(参考) 平成 17 年 3 月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
売 上 高	15,245	100.0	14,292	100.0	953	6.7	54,525	100.0
売 上 原 価	7,243	47.5	6,819	47.7	423	6.2	25,021	45.9
売 上 総 利 益	8,002	52.5	7,472	52.3	529	7.1	29,503	54.1
販売費及び一般管理費	7,289	47.8	6,828	47.8	460	6.7	25,405	46.6
営 業 利 益	713	4.7	644	4.5	69	10.8	4,098	7.5
営 業 外 収 益	113	0.7	188	1.3	74	39.7	700	1.3
営 業 外 費 用	62	0.4	79	0.5	16	20.7	299	0.5
経 常 利 益	763	5.0	752	5.3	11	1.5	4,499	8.3
特 別 利 益							219	0.4
特 別 損 失	3,700	24.3	39	0.3	3,660		784	1.5
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,936	19.3	713	5.0	3,649		3,934	7.2
税 金 費 用	1,096	7.2	356	2.5	1,453		1,957	3.6
四半期(当期)純利益	1,839	12.1	356	2.5	2,196		1,977	3.6

3. 商品別売上及び仕入の状況

(1) 商品別売上状況

(単位：百万円)

商品	当四半期 (平成 18 年 3 月期第 1 四半期)		前年同四半期 (平成 17 年 3 月期第 1 四半期)		(参考) 平成 17 年 3 月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
重衣料	8,142	53.4	7,956	55.7	30,913	56.7
中衣料	2,045	13.4	1,919	13.4	6,234	11.4
軽衣料	4,501	29.6	3,991	27.9	15,749	28.9
補修加工賃収入	307	2.0	303	2.1	1,010	1.9
その他	247	1.6	120	0.9	616	1.1
合計	15,245	100.0	14,292	100.0	54,525	100.0

(2) 商品別仕入状況

(単位：百万円)

商品	当四半期 (平成 18 年 3 月期第 1 四半期)		前年同四半期 (平成 17 年 3 月期第 1 四半期)		(参考) 平成 17 年 3 月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
重衣料	4,298	54.9	3,951	57.1	13,436	53.1
中衣料	822	10.5	843	12.2	2,818	11.2
軽衣料	2,533	32.4	2,072	29.9	8,748	34.6
その他	175	2.2	56	0.8	287	1.1
合計	7,830	100.0	6,923	100.0	25,291	100.0

(注) 1. 「重衣料」とは、スーツ、礼服、コートであります。

「中衣料」とは、ジャケット、スラックスであります。

「軽衣料」とは、ワイシャツ、ネクタイ、カジュアル、小物、その他であります。

「その他」とは、書籍、生活用品等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。